

令和5年度オジロワシ・オオワシ保護増殖検討会 議事概要

1 開催日時および開催場所

日 時:令和6年2月26日(木)10:00~12:00
会 場:釧路地方合同庁舎5階 第一会議室
実施形態:オンライン併用

2 出席者一覧(敬称略)

<検討委員> (五十音順)

河口 洋一 徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授
黒澤 信道 日本野鳥の会 釧路支部 支部長
小菅 正夫 北海道大学 客員教授
齊藤 慶輔 株式会社猛禽類医学研究所 代表
白木 彩子 東京農業大学 生物産業学部 准教授
中川 元 公益財団法人知床自然大学院大学設立財団 業務執行理事

<関係機関> (順不同)

北海道開発局開発監理部開発連携推進課、北海道森林管理局計画保全部計画課、根釧
東部森林管理署、網走南部森林管理署、十勝西部森林管理署、北海道環境生活部環境
局自然環境課

<オブザーバー> (順不同)

釧路市環境部環境保全課、札幌市円山動物園、旭川市旭山動物園、北海道旅客鉄道株
式会社釧路支社、株式会社猛禽類医学研究所、釧路市立博物館、根室市歴史と自然の
資料館、NPO 法人 EnVision 環境保全事務所

<事務局>

環境省自然環境局野生生物課、北海道地方環境事務所、釧路自然環境事務所、釧路湿
原自然保護官事務所、羅臼自然保護官事務所

3 会議の概要

議事(1)環境省からの事業実施報告及び令和6年度実施計画

◎環境省

以下について報告を行った。

- ・ オジロワシ・オオワシ保護増殖事業の実施報告【令和4・5年度】及び令和6年度実施計画【資料 1-1】
- ・ 傷病収容に係る結果のまとめ【資料 1-2】
- ・ 風力発電施設への衝突事故に係る対応について【資料 1-3】
- ・ 鉛中毒及び列車事故の発生について【資料 1-4】
- ・ 知床越冬個体数長期モニタリング結果について【資料 1-5】
- ・ (報道発表)垂直軸型マグナス式風力発電機への反応試験について【参考資料 1-1】
- ・ (報道発表)オオワシの鉛中毒の発生について【参考資料 1-2】
- ・ (報道発表)「エゾシカ覆隠シート」の開発について【参考資料 1-3】
- ・ (JAF ウェブページ) 絶滅危惧種との交通事故防止呼びかけ【参考資料 1-4】

<質疑応答、意見等>

- ・ (黒澤座長)鳥インフルエンザが続発し、生体を多く収容した場合、どのような対応を考えるか。
 - (環境省)現状では、鳥インフルエンザの罹患が続発した場合に積極的に用いることは想定していない。
 - (齊藤委員)鳥インフルエンザに対する抗ウイルス薬の投与は、動物園飼育個体や保全すべき系統の個体などが罹患した場合を想定した試験的な投与。今後の使用方針については、環境省と相談の上、環境省の判断に従う。
- ・ (河口委員)青森県、秋田県、山形県など、北海道外の地域における風力発電事業者に対して、事故発生時の情報提供を受ける体制になっているか。
 - (環境省)バードストライクの発生状況については、本年度から本省の音頭のもと全国の地方環境事務所で情報収集体制を整えているところ。環境省では今後も引き続き全国的な情報収集の体制を整えていく予定。

議事(2)検討委員からの情報提供及び関係行政機関等からの事業実施報告

◎小菅委員

以下について報告を行った。

1) 域外保全オジロワシ・オオワシの年齢構成について【非公開資料】

- ・ オジロワシは、飼育個体群に道産個体同士のペアを増やすことが課題
- ・ オオワシは、飼育園館の拡大とペアの入れ替えを行い、繁殖を推進することが課題

2) 円山動物園 オオワシ・プログラム【配布資料無し(スライドを用いた口頭発表)】

- ・ 非常手段の準備のための科学的知見を得るため、越冬地におけるオオワシの試験的な放鳥を計画
- ・ オオワシの越冬地試験放鳥を行う背景、目的、方法について
- ・ 試験放鳥の長期・中期・短期計画について
- ・ 放鳥個体の選定・トレーニング・放鳥方法の詳細について
- ・ 放鳥後の情報収集、放鳥個体の疾病及び死亡事故への対応、放鳥後の各種リスクへの対応について

<質疑応答、意見等>

- ・ (白木委員)ワシ類は生態系の上位者であり、飼育繁殖個体の放鳥は、生態系全体にも大きな影響を及ぼす可能性があるため、検討会委員以外の関連する専門家も含めて慎重な検討が必要。
- ・ (齊藤委員)釧路湿原野生生物保護センターで飼育されている非放鳥個体についても、動物園での繁殖のため積極的に活用してもらいたい。
- ・ (小菅委員)保護増殖検討会のなかで、動物園における域外保全個体群の管理について定めてほしい。

◎白木委員

以下について報告を行った。

1) オジロワシ長期繁殖モニタリング 2023年度 試行モニタリングと体制づくり【配布資料無し(スライドを用いた口頭発表)】

- ・ コストや労力をかけずにモニタリングを継続するための手法確立に向けた事業を展開
- ・ 営巣の継続状況、繁殖の成否等をモニタリング
- ・ 繁殖個体群に生じた問題にいち早く気づき、予防的な対応をすることが本モニタリングの第一の目的
- ・ 保護区域や過去から継続的にモニターされている営巣地等を優先的なモニタリング候補地としている(実態としては、調査者の有無がモニタリング場所の選定に影響)
- ・ 継続的にモニタリングできる機関やグループによる実施を前提としているが、該当する機関や組織がない場合は、暫定的に個人に依頼

- ・ 未だすべてのデータが揃っていない暫定的な結果であるが、今年度は昨年度より繁殖成功率や生産力が高い結果が出たが、その理由についての考察はできていない
- ・ 優先度が高い道北や近年、営巣地が増加している日高地方、道南においてモニタリング体制が整っていない
- ・ 繁殖成否の基準については、当該モニタリングの主旨と実行可能性の両面から検討が必要である
- ・ 環境省には、モニタリングの実施が必要な国立公園や国設鳥獣保護区周辺において、アクティブレンジャーなどのスタッフや鳥獣保護監視員などが対応できるよう、体制構築への協力をいただきたい

◎河口委員

以下について報告を行った。

- ・ 『保全生態学研究』に掲載された風力発電の影響調査に関する論文について
- ・ 後日開催予定の洋上風力発電シンポジウムについて【資料 3】

◎北海道森林管理局

以下について報告を行った。

- ・ 令和 5 年度のオジロワシ・オオワシ巡視等実施状況【資料 4】

<質疑応答、意見等>

- ・ (白木委員)十勝東部森林管理事務所で夏場にオジロワシが多く確認されているが、シマフクロウの給餌池での確認か。
→ (北海道森林管理局)シマフクロウの給餌池でオジロワシの成鳥と亜成鳥が確認されている。
- ・ (黒澤座長)収集したデータをモニタリング等に活用してほしい。様々な事業者が収集したデータを一元的に収集・管理できるように取りまとめることが望ましい

◎北海道開発局

以下について報告を行った。

- 1) 令和5年度 オジロワシ・オオワシ保護に関わる事業実施状況および令和6年度の実施計画【非公開資料】
 - ・ 令和 5 年度のオジロワシ・オオワシ保護に関わる事業実施状況及び令和 6 年度の実施計画について
 - ・ 繁殖や生息に配慮した具体的な保護対策の実施状況について
 - ・ 令和 5 年度におけるオジロワシの繁殖状況の成否件数について

<質疑応答、意見等>

- ・ (黒澤座長) 全体の大まかな傾向や最近変わってきたことがあれば、教えてほしい。
→ (北海道開発局) 変わってきた傾向は特に見受けられない。先生方による研究の積み重ねがあり、概ねの傾向と対策はほぼ一般化されている。順調に保全対策を検討しながら、事業を進めたい。
- ・ (河口委員) 北海道開発局のデータを、オジロワシ長期繁殖モニタリング事業などにも反映してほしい。
- ・ (河口委員) 今まで蓄積されてきたデータを用いて、平均繁殖成功率などを報告してほしい。
→ (北海道開発局) 過去に、蓄積した環境調査のデータを基に、工事前と保全対策を行った工事後の繁殖成功率の統計的な解析を行っている。工事前に比べてもそれほど変わらない繁殖成功率の数字が出ており、保全対策が一定の効果を示しているという結果が出ている。
→ (河口委員) そういった成果は保護増検討会でも発表してもらいたい。

◎北海道庁

以下について報告を行った。

- ・ 希少猛禽類保護のための狩猟に関する道の取組及び令和4年度(2022年度)エゾシカの推定生息数等について【資料6】

<質疑応答、意見等>

- ・ (齊藤委員) シカ猟の止め刺しに用いられた鉛弾による鉛中毒被害が確認されているので、止め刺し用の鉛弾についても規制する権限が道庁にあるかどうか確認したうえで、検討会に報告すべき。
- ・ (北海道旅客鉄道) オジロワシ、オオワシと列車との衝突事故を防ぐためには、シカと列車との衝突件数を減らす必要があるので、シカの捕獲を引き続き強化してほしい。

議事(3)その他、全体的な意見交換

- ・ (中川委員) 環境省による道北地域の渡り鳥調査が対象としている範囲よりも南に、風力発電施設の建設計画が広がっているため、調査状況や建設予定状況に応じて範囲を拡大する必要がある。
- ・ (白木委員) 観光船等による海ワシ類への餌付け対策の効果が出ていないので、検討会の最大の目的である「生息環境の保全に立脚した自立個体群の確立」を達成するためにも、改めて方針を定めて対策を強化する必要がある。
→ (環境省) サステナブルツーリズムやアドベンチャーツーリズムの観点から、観光業者に餌付け対策を周知する。
→ (環境省) 野生生物の餌付け対策についてメディアにも情報発信の協力をお願いしたい。